

日本地質学会第 123 年学術大会（2016 東京・桜上水大会）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 11 日（日）午前

会場	第 1 会場（3305 教室）	第 2 会場（3307 教室）	第 3 会場（3308 教室）
	R7. 海洋地質	R20. 地学教育・地学史	R16. ジュラ系+
	座長：12-16 坂本 泉，17-21 小原泰彦	座長：1-2 矢島道子，3-4 松田義章	座長：1-3 松岡 篤，4-5 石田直人
8：45			
	9：00 R7-O-12 南島島北方の海底地形と海底地形名 小原泰彦	8：45 R20-O-1 高校生の科学研究の指導者に求められる姿勢 川勝和哉	8：45 R16-O-1 美濃テレーン上麻生ユニットのチャート岩体から産出した2つの apical coneを持つFollicucullus 伊藤 剛・北川祐介・松岡 篤
	9：15 R7-O-13 島弧創成成長プロセスと海底拡大軸のインタラクション—伊豆マリアナ前弧域KH-145航海— 石塚 治・針金由美子・谷 健一郎・山崎俊嗣・田村千織・芦田将成・櫻本晋洋・海野進・金山恭子・八木雅俊・坂本 泉・飯島さつき・井上智仁・Ghosh Tithi・宮嶋優希	9：00 R20-O-2 地学教材としての「小樽軟石」—地学教育における石材の活用：事例研究— 松田義章・小樽軟石研究会	9：00 R16-O-2 上部白亜系和泉層群から産出する花粉・孢子化石—バリノモルフ生層序を目指して— 吉野恒平・松岡 篤・Wan Xiaoqiao
	9：30 R7-O-14 伊豆・小笠原弧のスミスリフトと北部フォッサマグナの類似性とその成因に関する一考察 藤岡換太郎	9：15 R20-O-3 ジオツアー“オンネニクルの森を歩こう”実施報告 重野聖之・渡辺和明・石渡一人・七山 太	9：15 R16-O-3 放散虫スプレリアの珪質殻における成長モデル 堀 利栄・新木雄之・岩切彰宏・松岡 篤・鈴木紀毅・大金 薫・辻 彰洋
	9：45 R7-O-15 スミスカラデラ北部における水中音響異常と熱水変質帯 松下小春・坂本 泉・上原太樹・八木雅俊・岡村 聡・棚橋道郎	9：30 R20-O-4★ 東京大学地球惑星科学専攻図書室保存書庫の貴重史料 矢島道子	9：30 R16-O-4（招待） チャートシーケンスの炭素同位体比層序構築を目指した超微量有機炭素の同位体比分析法の検討 長谷川 卓・長谷部桂一朗
	10：00 R7-O-16 鉄マンガングラスト表層に観察できる微細成長構造の古地磁気層序による年代制約 高橋浩規・小田啓邦・野口敦史・臼井朗・河合 淳・佐藤雅彦・伊藤 孝		10：00 R16-O-5 第15回国際放散虫研究集会と放散虫研究の未来 松岡 篤
	10：15（休憩）		
	10：30 R7-O-17 マントルセクション中のダイクの分布から推定されるオマーンオフィオライトにおけるマグマソースのバリエーション Python Marie・Ceuleneer Georges・Abily Bénédicte・荒井章司	R13. 沈み込み帯・陸上付加体	
	10：45 R7-O-18 海洋下部地殻物質のモード組成と岩石物性の関係：大西洋とインド洋における2つの海洋コアコンプレックス比較 阿部なつ江	座長：1-5 坂口有人	
	11：00 R7-O-19 北東アラビア海から採取された海洋コアから発見されたeolian-sand turbiditesの特徴 村山雅史・山下広大・山本祐二・入野智久	10：30 R13-O-1 日本海溝におけるチャートの変形・続成過程 亀田 純・岡本 敦・佐藤公法・藤本光一郎・木村 学	R15. 古生物
	11：15 R7-O-20 薩摩硫黄島長浜湾における海洋底堆積物の堆積作用：コロイドの沈殿挙動 原田拓人・清川昌一・池原 実	10：45 R13-O-2 台湾チェルンブー断層小断層のラフネス解析：パワースペクトル密度とハースト指数の地震前後における変化 橋本善孝・清水千翔・岸 祥平・葉 恩肇・陸 挽中	座長：1-5 高津翔平
	11：30 R7-O-21 プレート沈み込み境界部の地質学的・岩石学的研究に基く超巨大地震発生回避策—海洋底掘削科学の超長期目標— 石井輝秋	11：00 R13-O-3 高知県馬路-魚梁瀬地域の安芸構造線：岩相・年代境界断層と温度構造境界断層 原 英俊・原 康祐・中村佳博・森 宏	10：30 R15-O-1 中国雲南省における下部カンブリア系の高分解能年代学：SSF多様化のタイミング 河野聖那・磯崎行雄・日達宇彦・佐藤友彦・張 興亮
		11：15 R13-O-4 石炭化プロセスにおける炭質物の結晶構造・化学進化：高知県四万十帯付加コンプレックスの例 中村佳博・原 英俊・鍵裕之	10：45 R15-O-2 被覆率に基づく異質性の基準化 生形貴男
		11：30 R13-O-5 Detection of frictional heating on faults using Raman spectra of carbonaceous material 氏家恒太郎・田畑皓輝・額額佑衣・鍵裕之・林 為人	11：00 R15-O-3 ペルム紀中期末の寒冷化に対する中緯度地域の浅海生物相の応答：南部北上帯ペルム系岩井崎石灰岩最上部の岩相・化学層序 飛田知世・磯崎行雄・田畑美幸・吉田尚弘・松井洋平・坂井三郎・西澤 学・奥村知世
			11：15 R15-O-4 佐世保層群福井層から得られた漸新世フトヘナタリ類（腹足綱：フトヘナタリ科）の一新種 松原尚志
			11：30 R15-O-5 南部北上帯松川地域のペルム紀中期（ワード期）ボレアル型—テチス型混合腕足類フォーナ 田沢純一・荒木英夫

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。（招待）：招待講演。（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演

日本地質学会第 123 年学術大会（2016 東京・桜上水大会）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 11 日（日）午前

会場	第 4 会場（3303 教室）	第 5 会場（3405 教室）	第 6 会場（3407 教室）
	R8. 堆積物（岩）の起源・組織・組成	T6 日本列島の構造発達史再考	R4. 変成岩とテクトニクス
	座長：1-3 太田 亨, 4-5 野田 篤	座長：1-4 青木一勝, 5-8 磯崎行雄	座長：1-4 吉田健太, 5-8 東野文子, 9-12 桑谷 立
8：45	8：45 R8-O-1 ヒマラヤ山脈前縁盆地堆積物シワリク層群下部の重鉱物分析に基づく後背地の削剥史：西部～中央ネパールにおける例。 中嶋徹・吉田孝紀・松本悠暉・Regumi Amar Deep・Rai Larit・酒井治孝 9：00 R8-O-2 瀬戸層群下部陶土層の化学組成の地域間比較：新第三紀の古風化条件復元に向けて。 葉田野希・吉田孝紀・笹尾英嗣・久保田満・足立佳子 9：15 R8-O-3 炭酸塩球状コンクリーションの成因と形成速度の検討。 吉田英一・大江俊昭 9：30 R8-O-4（招待）★ 電子スピン共鳴法を用いた後背地解析技術の研究。 安江健一・徳安佳代子・小松哲也・堀内泰治・清水麻由子・丹羽正和 9：45 R8-O-5（招待）★ ウラン鉱床の形成プロセスと堆積・続成作用との関連性。 笹尾英嗣	8：45 T6-O-1 太平洋型造山帯要素研究におけるジルコンU-Pb年代測定の貢献：顕生代日本弧-海溝系の例。 磯崎行雄 9：00 T6-O-2 日立カンブリア系の帰属から日本海が開く前の東北日本弧の古地理を考察する。 田切美智雄・堀江憲路・足立達朗 9：15 T6-O-3 北海道東部地域に見られる屈曲構造の形成時期について。 片桐貴浩・大林秀行・成瀬 元・石川尚人・平田岳史・金松敏也 9：30 T6-O-4 LA-ICP-MS U-Pb zircon ages of the Nakanogawa Group in the southern Hidaka belt and implications for its provenance and protolith of the Hidaka metamorphic rocks. Nanayama Futoshi・Takahashi Yutaka・Yamasaki Toru・Nakagawa Mitsuru・Iwano Hideki・Danbara Tohru 9：45 T6-O-5 碎屑性ジルコンが示す白亜紀中-後期日本の構造浸食作用の実態。 青木一勝・磯崎行雄・坂田周平・佐藤友彦・山本伸次・平田岳史 10：00 T6-O-6（招待） 隠岐帯の南限か？：大山南西麓、溝口地域に露出する片麻岩類のジルコンU-Pb年代。 堤 之恭・寺林 優・磯崎行雄 10：15 T6-O-7 ジルコン単結晶をもちいた古地磁気-包有物分析の試み：丹沢トータル岩を例に。 山本伸次・佐藤雅彦・山本裕二・大野正夫・綱川秀夫 10：30 T6-O-8（招待） レーザーアブレーションICP質量分析法による碎屑性ジルコン分析の技術的進展。 坂田周平・大野 剛・大林秀行・平田岳史	8：45 R4-O-1 Discrepancy between U-Pb zircon and monazite dates in granitoids from the Ryoke Belt（Iwakuni-Yanai area, SW Japan）. Skrzypek Etienne 9：00 R4-O-2★ 領家帯三河地域に産する新期領家花崗岩に見られるU-Pbジルコン年代とCHIMEモナズ石年代の不一致。 高塚紘太・河上哲生・スクリベク エティエン・坂田周平・大林秀行・平田岳史 9：15 R4-O-3 モンゴル・アルタイ山脈。粗粒藍晶石を含む泥質変成岩中の紅柱石と珪綠石。 中野伸彦・小山内康人・足立達朗・大和田正明・Satish-Kumar M.・Jargalan Sereenen・Syeryekhan Kundyz 9：30 R4-O-4 東南極セール・ロンダーネ山地パーレバンデにおける大陸衝突帯中-下部地殻への塩素に富む流体流入のタイミング。 河上哲生・東野文子・スクリベク エティエン・サティシュ・クマール M.・グランサム ジェフリー・土屋範芳・石川正弘・坂田周平・平田岳史 9：45 R4-O-5★ 泥質変成岩におけるスピネル＋斜長石共生の成因。 志村俊昭・原田悠暉・小島 萌 10：00 R4-O-6 ホットな変成岩ナップに被覆された1.9～1.6Gaの現地性原生界の被熱と15～2Maの側方冷却。 酒井治孝・平林沙織・岩野英樹・檀原 徹 10：15 R4-O-7 ドラマイラUHPユニットの変形していない変成花崗岩からの白雲母Ar-Ar年代。 板谷徹丸・兵藤博信・郷津知太郎・Thanh Ngo Xuan・Groppa Chiara 10：30 R4-O-8★ 西彼杵泥質片岩ジルコン変成リムの成長動力学と成長時間。 宮崎一博・森康・重野未来・檀原徹・岩野英樹・八木公史・菅賢志・西山忠男・平田岳史 10：45 R4-O-9 海洋プレート拡大軸直下における最上部マントルの構造岩石学的特徴～オマーンオフィオライトを例として～。 道林克禎・大家翔馬・尾上彩佳・小田島庸浩 11：00 R4-O-10 南部マリアナ海溝陸側斜面で採取された海溝カンラン岩の地質学的研究。 大家翔馬・上原茂樹・道林克禎・小原泰彦・石井輝秋 11：15 R4-O-11 丹沢深成岩体に接する角閃岩の変形微細構造と結晶方位ファブリック。 水野那希・道林克禎 11：30 R4-O-12 長期流体移動による交代縞構造と2Dパーコレーション剪断不安定。 鳥海光弘・福山蘭子
	R10. 堆積過程・堆積環境・堆積地質	T7. 文化地質学	
	座長：1-5 柴田健一郎	座長：1-3 一田昌宏	
	10：30 R10-O-1 横ずれ断層による河川地形の変化過程。相良雅也・北沢俊幸 10：45 R10-O-2 2015年9月10日鬼怒川破堤によって発生したクレバスチャネルとクレバススプレー堆積物の水理条件。 重野聖之・七山 太・渡辺和明 11：00 R10-O-3 粒度組成に支配される土石流の性質とそれを理解するための教育用モデル実験。 林 慶一 11：15 R10-O-4 上部白亜系久慈層群のシーケンス層序と堆積史。 三塚俊輔・安藤寿男 11：30 R10-O-5 南相馬市小高区井田川で採取されたボーリングコア中のエスチュアリー埋積完新統と津波堆積物。 保柳康一・角張友律・松田和久・太田勝一	11：00 T7-O-1 明治末期から昭和初期までの近代建築物に用いられた国産建築石材の多様性について。 乾 睦子 11：15 T7-O-2★ 福岡城上之橋御門石垣石材に使用された花崗岩石材の鉱物組成とその産出地特定の制約。 宮本知治・島田和彦・中村啓太郎・星野恵美・島田允堯 11：30 T7-O-3 高知県爪白海底石柱群の元素分析データを用いた多変量解析による石材産地の特定。谷川 亘・濱田洋平・浦本豪一郎・山本裕二・村山雅史・多田井修・廣瀬大洋・尾寄大真・米田 穰・徳山英一	

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目と著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。 ★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。 （招待）：招待講演。（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演

日本地質学会第 123 年学術大会（2016 東京・桜上水大会）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 11 日（日）午前

会場	第 7 会場（3408 教室）	第 8 会場（3403 教室）	3205 教室（3 号館 2 階）
	R18. 環境地質	R17. 情報地質とその利活用	R6. ジオパーク
	座長：1-5 田村嘉之	座長：1-4 野々垣進	座長：1-3 天野一男、4-6 高木秀雄
8：45	8：45 R18-O-1 東京湾岸埋立地における浅層地下水位観測. 香川 淳・吉田 剛・風岡 修 9：00 R18-O-2 千葉県習志野市東部の 2 つの地質単元（水文地質と累層）の融合とその地下水流動と地下水温. 吉田 剛・風岡 修・八武崎寿史・本田恵美・香川 淳・古野邦雄・荻津 達 9：15 R18-O-3 江戸時代（1840 年）に記録された新潟県佐渡島相川鉱山のじん肺について（その 2）. 仲川隆夫 9：30 R18-O-4 東京湾北部の埋立地における層序と 2011 年東北地方太平洋沖地震時の液状化－流動化の層準：船橋市日の出町での調査から. 風岡 修・宇澤政晃・檜山知代・荻津 達・八武崎寿史・香川 淳・吉田 剛・加藤晶子・本田恵理・小倉孝之 9：45 R18-O-5 2016 年熊本地震と液流動化・地波現象・活地塊. 楡井 久	8：45 R17-O-1★ 地質文献データベース（GEOLIS）を題材にした地質情報の LOD 化の試み. 内藤一樹・渡辺和明 9：00 R17-O-2 ASEAN シームレス地質図（100 万分の 1）プロジェクトの概要. 高橋 浩・大久保泰邦・大野哲二・Bandibas Joel・Wongsomsak Sompob 9：15 R17-O-3 特異スペクトル変換法を利用した大気中ラドン濃度異常検知と地震活動. 岩田大地・長濱裕幸・武藤 潤・安岡由美 9：30 R17-O-4 ボーリングデータから構築された 3 次元表層地質モデルの信頼度の評価方法. 升本真二・根本達也・ラガワン ベンカテッシュ・野々垣進	8：45 R6-O-1（招待） International Geoscience and Geopark Programme の発足と今後のジオパークの動向. 渡辺真人 9：15 R6-O-2 ジオパーク構築における park boundary の重要性について. 太田泰弘 9：30 R6-O-3 持続可能なジオパーク活動への課題－ゆざわジオパークの教育と研究活動を例にして－. 山崎由貴子・沼倉 誠・菅原 守・金野寛子・金 潔・中三川洗太・加賀美典明 9：45 R6-O-4 ガイドブック「南三陸・仙台湾地域のジオツアーガイド」：理科教育・防災教育への活用の提案. 永広昌之・南三陸海岸ジオパーク準備委員会 10：00 R6-O-5 富山県の「県の石」" オニックスマープル" と呼ばれる炭酸塩岩について. 久保貴志 10：15 R6-O-6 山陰海岸ジオパーク・但馬御火浦における地質学的研究と地域活性化. 郡山鈴夏・松原典孝・井口博夫
	R19. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造	R3. 噴火・火山発達史と噴出物	
	座長：1-3 西山賢一、4-6 亀高正男	座長：1-5 長井雅史	
	10：00 R19-O-1（招待）★ 最近の地形計測・表現技術の地質学への貢献. 向山 栄 10：30 R19-O-2 北アルプス、徳本峠北東の山体重力変形地形. 小嶋 智・永田秀尚・小出健太・大谷具幸 10：45 R19-O-3 知床半島幌萌地すべりの前面に形成された隆起帯とその地質構造. 田近 淳・川上源太郎・山崎新太郎 11：00 R19-O-4 2016 年熊本地震で発生した地すべり・斜面崩壊の地形・地質的特徴. 西山賢一・鳥井真之・奥野 充・井口 隆・加藤靖郎・高見智之・西村智博・田近 淳・田村浩行・橋本修一・横田修一郎 11：15 R19-O-5 地盤情報データベースから復元した上町断層帯の表層地質構造. 櫻井啓生 11：30 R19-O-6 北海道の地熱地域周辺の地震と活断層. 大津 直	10：00 R3-O-1 南西北海道、羊蹄火山の噴火活動史とマグマ変遷. 上澤真平・中川光弘・江草匡倫・梅津 茜 10：15 R3-O-2 南西北海道、横津火山群の地質と岩石：150 万年間の活動様式とマグマ化学組成の時間変遷. 高田倫儀・中川光弘 10：30 R3-O-3 十和田湖地域における十和田火山活動以前の第四紀火山活動史. 工藤 崇 10：45 R3-O-4 小笠原群島古第三紀母島列島の火山地質. 海野 進・石塚 治・金山恭子 11：00 R3-O-5 始良カルデラの後カルデラ火山活動と環境変遷. 鹿野和彦・柳沢幸夫・森脇 広・小林哲夫・内村公大・味喜大介・井口正人	

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。（招待）：招待講演。（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演

■ 9 月 11 日（日）午前

会場

■ MEMO ■

8 : 45

■ MEMO ■

3206 教室（3 号館 2 階）

S1. みんなで考えよう，都市ハザードから放射性廃棄物問題まで
ー科学技術と社会科学の融合ー（研究編）

座長：6-10 高橋正樹

8 : 45	S1-O-6（招待）
東京直下地震災害とそれへの備え，平田 直	
9 : 15	S1-O-7（招待）
東京の都市地質と地震災害，木村克己	
9 : 45	S1-O-8（招待）
地すべりと都市ジオハザード，佐藤 浩	
10 : 15	S1-O-9（招待）
地質記録を都市型津波災害の低減に活かす，藤原 治	
10 : 45	S1-O-10（招待）
災害情報の社会的機能，中森広道	

※講演番号は，シンポジウム（S），トピックセッション（T），レギュラーセッション（R）のそれぞれに，ポスター（P）／口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。

※太字氏名：代表発表者，★印：ハイライト（本誌 p.（12）を参照），（招待）：招待講演，（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演

■ 9 月 11 日（日）午後

会場	■ MEMO ■
14：30	

第 2 会場（3307 教室）	
R13. 沈み込み帯・陸上付加体	
座長： 6-11 氏家恒太郎, 12-16 橋本善孝	
14：30	R13-O-6
紀伊半島南部四万十帯の海底地すべりの構造. 中屋志津男・中屋志郎	
14：45	R13-O-7 (招待) ★
2011 年東北地方太平洋沖地震前後でのプレート境界断層の挙動. 日野亮太	
15：15	R13-O-8
最近の地震学的研究成果によって明らかとなった伊豆衝突帯の地殻構造. 伊藤谷生	
15：30	R13-O-9
Latest-Miocene onset of Nankai Trough Subduction due to regional Change in Plate tectonic Framework. 木村 学・高下裕章・辻 健・Moore Gregory	
15：45	R13-O-10
南海トラフ付加体最近10Maの温度場復刻の試み. 木下正高	
16：00	R13-O-11
カッティングス試料のビトリナイト反射率測定・碎屑性ジルコン年代測定に基づく南海付加体深部構造の推定. 福地里菜・山口飛鳥・山本由弦・伊藤久敏・芦寿一郎	
16：15	R13-O-12
熊野海盆下に位置する南海トラフ付加体形成プロセスの推定. 川端訓代・北村有迅・坂口有人・齋藤実篤	
16：30	R13-O-13
カッティングスからみた南海震源域上盤のテクトニック応力. 坂口有人・井上美季・小峯裕弥・林 為人・多田井修・畠田健太郎・山口飛鳥	
16：45	R13-O-14
IODP掘削地点C0002の海底下1000～3000 mから採取された、南海トラフ付加体泥質堆積物試料の摩擦特性. 星野紘輝・阿部浩典・澤井みち代・金川久一	
17：00	R13-O-15
沈み込み帯浅部における地震性すべりの材料物質：房総半島石堂断層（OST）・山本由弦・福山繭子・千代延俊・氏家恒太郎・濱田洋平・神谷奈々	
17：15	R13-O-16 (招待) ★
蛇紋岩メランジュにおける流体岩石相互作用と反応促進型透水性：深部スロー地震との関連. 森 康・重野未来・西山忠男	

第 3 会場（3308 教室）	
R21. 第四紀地質	
座長：1-4 公文富士夫, 5-7 山田 桂, 8-10 長橋良隆, 11-13 瀬戸浩二	
14：30	R21-O-1
活断層空白域（熊本沖有明海）に存在する2本の活断層. 秋元和實	
14：45	R21-O-2
松江平野の古環境（3）・渡辺正巳・瀬戸浩二・奥中亮太	
15：00	R21-O-3★
貝形虫殻の酸素・炭素同位体比を用いた古気候の定量的復元の可能性. 山田 桂・池原 実	
15：15	R21-O-4★
大山倉吉テフラと山陰1テフラの層序と年代：若狭湾沖堆積物コアと水月湖SG06コアによる検討. 長橋良隆・深谷桃子・木村純一・常 青・佐川拓也・中川 毅・池原 研	
15：30	R21-O-5
琵琶湖における過去約6万年間の古湖水面変遷史. 大塚佳祐・井内美郎	
15：45	R21-O-6
福井県三方五湖における過去3000年間の古環境変遷史. 瀬戸浩二・入澤汐奈・北川淳子・山田和芳	
16：00	R21-O-7
静岡県焼津平野の完新統の解析に基づく安政東海型地震の発生について. 北村晃寿	
16：15	R21-O-8
富山県・射水平野の海岸低地の形成過程と古地理の復元. 卜部厚志	
16：30	R21-O-9
関東平野北西部、埼玉県寄居町用土付近の完新統～上部更新統（MIS3）の花粉分析. 楢井 尊・斉藤明彦・小林健助	
16：45	R21-O-10
北秋田市大野台の地形・地質と伊勢堂岱遺跡. 藤本幸雄	
17：00	R21-O-11
北海道石狩平野の沖積層基底とMIS5e期堆積物の堆積面. 嵯峨山積・井島行夫・藤原与志樹・岡村 聡・山田悟郎・宿田浩司・赤松周平	
17：15	R21-O-12
北海道十勝平野に分布する赤色土と更新世における赤色土の生成上限. 仲川隆夫	
17：30	R21-O-13
野付崎バリアースピッツの地形発達史から読み解く根室海峡沿岸域の完新世地殻変動. 七山 太・渡辺和明・重野聖之・長谷川健・石渡一人・和田直人・小野哲也	

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。（招待）：招待講演。（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演

日本地質学会第 123 年学術大会（2016 東京・桜上水大会）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 11 日（日）午後

会場	第 4 会場（3303 教室）	第 5 会場（3405 教室）	第 6 会場（3407 教室）
	R10. 堆積過程・堆積環境・堆積地質	T7. 文化地質学	R4. 変成岩とテクトニクス
	座長：6 西田尚央, 7-11 関めぐみ, 12-17 北沢俊幸	座長：4-5 大友幸子, 6-8 田口公則, 9-12 鈴木寿志	座長：13-16 田口知樹, 17-21 松村太郎次郎
14：30	14：30 R10-O-6（招待）★ 火山砕屑堆積学・ラハール堆積学：見落とされていた現象の理解と復元。 片岡香子 15：00 R10-O-7 汽水湖・宍道湖における湖底有機物の分布と湖水の動態からみた石灰質有孔虫殻の溶解。 野村律夫・辻本 彰・井上陸夫 15：15 R10-O-8 岩手県広田湾における3.11津波堆積物の堆積モデル。 横山由香・坂本泉・八木雅俊・藤巻三樹雄・根元謙次・笠谷貴史・藤原義弘 15：30 R10-O-9 九十九里浜沖陸棚堆積物の発達過程。 西田尚央・味岡 拓・池原 研・中島 礼・宇都宮正志 15：45 R10-O-10 GiSedTrendによるDeflected wave-influenced deltaの成長過程の解析：石狩デルタを例として。 川上源太郎・仁科健二・菅和哉・濱田誠一 16：00 R10-O-11★ デルタ性陸棚成長のオート層序学的考察：多サイクル海水準変動のもとでの大規模オートジェネシスの収束。 武藤鉄司 16：15 R10-O-12 「三陸海岸は何故リアス式か？」沈込スラブのプレートテクトニクスからの解答。 新妻信明 16：30 R10-O-13★ 重力流堆積物の長距離マッピングにより明らかにされた高流砂階の堆積構造の形成条件。 大西由梨・瀧井喜和子・石原与四郎・横川美和 16：45 R10-O-14 北部フォッサマグナ新第三系の陸棚斜面埋積モデル。 関 めぐみ・保柳康一 17：00 R10-O-15 房総半島下部更新統勝浦層に認められる海底堆積物の剥離をともしうハイブリッド重力流堆積物の形成過程。 伊藤 慎・菅沼 凌 17：15 R10-O-16 水路実験における重力流によるサイクリックステップの形態。 横川美和・成瀬 元・武藤鉄司・泉 典洋 17：30 R10-O-17 シェール堆積盆におけるシーケンス層序と堆積相モデリング：秋田堆積盆中新統女川層の例。 高野 修・熊田祐子・辻 隆司・並川貴俊	14：30 T7-O-4 地質学。 鈴木寿志・田口公則 14：45 T7-O-5（招待）★ 地質の詩学－ゲーテ、ヘルダーリン、ノヴァーリス。 廣川智貴 15：15 T7-O-6（招待）★ 宮沢賢治における白堊紀砂岩の問題。 鈴木健司 15：45 T7-O-7 地貌と地質から見た文学と地質学。 加藤碩一 16：00 T7-O-8 歴史的建造物の石材と地域地質の見学を有機的に結合させた文理融合型の文化・地質巡検の実施：－日本地質学会北海道支部・「地質の日」関連イベント：市民地質巡検「ぶらり 小樽の地質と軟石建造物」実施報告－。 松田義章・仁科健二・大鐘卓哉・高見雅三・竹内勝治・菅原慶郎・松枝大治 16：15 T7-O-9★ 和歌山県串本町の「橋杭岩」伝説について～文化地質学の視点から～。 石橋弘明 16：30 T7-O-10 小豆島山岳霊場の行場の地形学・地質学的特徴について。 川村 教一 16：45 T7-O-11 古事記を地学で読み解く（その2）。 長 秋雄 17：00 T7-O-12★ 『おくのほそ道』の地質学。 蟹澤聰史	14：30 R4-O-13 ヒマラヤに産するエクログジャイトの種類の特徴。 REHMAN Hafiz Ur 14：45 R4-O-14★ 四国中央部に分布する秩父帯北帯におけるメタチャートの延性変形。 原田悠暉・ウォリス サイモン・永治方敬・遠藤俊祐 15：00 R4-O-15 新潟県糸魚川市に分布する蓮華変成岩類の変成作用と年代学的検討。 吉田拓海・Satish Kumar・植田勇人 15：15 R4-O-16 神居古潭変成帯幌加内地域の緑簾石青色片岩とローソン石形成時期の再検討。 平島崇男・皆川広太・片岡晃一・金川久一 15：30 R4-O-17 ベイズ推論による鉱物組成累帯構造からの温度－圧力－時間履歴推定の試み。 桑谷 立・岡本 敦・吉田健太・奥平敬元 15：45 R4-O-18 非負値行列分解による広域変成帯の全岩化学組成特徴抽出～四国・三波川変成帯を例として～。 吉田健太・赤穂昭太郎・岩森 光・桑谷 立 16：00 R4-O-19 下部地殻剪断帯の発達過程：ノルウェー北部Eidsfjord剪断帯。 奥平敬元・重松紀生・針金由美子・吉田健太 16：15 R4-O-20 メタチャート中の紅簾石の幅と縦横比：2変量対数正規分布による定量化。 増田俊明・大森康智・西脇 伸・松村太郎次郎・桑谷 立 16：30 R4-O-21 三波川変成帯における古応力場：石英の流動則と再結晶粒径からの推定。 清水以知子・上田匡将・福田惇一

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者。 ★印：ハイライト（本誌 p. (12) を参照）。 （招待）：招待講演。（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演

日本地質学会第 123 年学術大会（2016 東京・桜上水大会）講演プログラム（口頭）

■ 9 月 11 日（日）午後

会場	第 7 会場（3408 教室）	第 8 会場（3403 教室）	3206 教室（3 号館 2 階）
	R24. 鉱物資源と地球物質循環 座長：1-4 高谷雄太郎，5-7 藤永公一郎	T1 活断層破砕帯の掘削と断層年代測定による断層活動性の評価 座長：1-5 堤 昭人，6-9 長谷部徳子	S1. みんなで考えよう，都市ハザードから放射性廃棄物問題まで —科学技術と社会科学の融合—（研究編） 座長：11 吉田英一，12-13 竹内真司
14：30	14：30 R24-O-1 海の鉱物資源の全容解明へ向けた新しい試み， 加藤泰浩 ・岩森光・中村謙太郎・尾上哲治・野崎達生・藤永公一郎・町田嗣樹・高谷雄太郎・安川和孝・大田隼一郎 14：45 R24-O-2（招待） レアアース泥の起源と地球システムのダイナミクス：独立成分分析による数理統計的アプローチの成果， 安川和孝 ・中村謙太郎・藤永公一郎・岩森 光・加藤泰浩 15：15 R24-O-3 南鳥島EEZにおけるレアアース泥を含む深海堆積物の化学層序， 中村謙太郎 ・見邨和英・安川和孝・藤永公一郎・加藤泰浩 15：30 R24-O-4 南鳥島EEZ南部における超高濃度レアアース泥の地球化学的特徴および分布状況， 藤永公一郎 ・安川和孝・中村謙太郎・高谷雄太郎・大田隼一郎・大矢和孝・町田嗣樹・野崎達生・飯島耕一・加藤泰浩 15：45 R24-O-5 炭酸・シュウ酸を用いたレアアース泥の製錬手法構築：化学リーチングによるレアアース元素の抽出と分離回収， 高谷雄太郎 ・藤永公一郎・加藤泰浩 16：00 R24-O-6 南鳥島EEZ南東部全域に分布するマンガンノジュール ～YK16-01航海速報～， 町田嗣樹 ・飯島耕一・下村遼・安川和孝・藤永公一郎・野崎達生・金子純二・大田隼一郎・山本浩文・高谷雄太郎・石井輝秋・佐藤太一・中村謙太郎・加藤泰浩 16：15 R24-O-7 沖縄トラフ伊平屋北海丘の人工熱水孔から採取された硫化物コア試料：海底下鉱化作用の再現， 野崎達生 ・長瀬敏郎・鳥本淳司・高谷雄太郎・石橋純一郎・島田和彦・渡邊正之・正木裕香・横山貴大・秋山敬太・櫻井紀旭・猿橋具和・許正憲・熊谷英憲・前田玲奈・高井 研	14：30 T1-O-1 活断層破砕帯の掘削と断層岩構造解析・断層年代測定による断層活動性の評価手法の構築， 林 愛明 14：45 T1-O-2 断層ガウジとシュードタキライトの放射年代からみた西南日本の主要断層の生成年代とその意味， 高木秀雄 15：00 T1-O-3 中期更新世に活動を停止した断層破砕帯の特徴：紀伊半島中央部の中央構造線の例， 大谷具幸 ・椿 純一・河野雅弘・小嶋 智 15：15 T1-O-4 掘削と孔内検層からみた断層帯の構造－野島断層，根尾谷断層の例， 小村健太郎 ・松田達生 15：30 T1-O-5 断層帯の年代学と熱年代学：現状と展望， 田上高広 15：45 T1-O-6 Constraining timing and conditions of brittle deformation in the shallow crust， Zwingmann Horst ・田上高広 16：00 T1-O-7 断層ガウジのESR年代測定による活動性評価－淡路市・浅野断層を例として， 福地龍郎 16：15 T1-O-8 断層運動の温度時間推定：熱ルミネッセンス法の可能性， 長谷部徳子 ・三浦知督・鴈澤好博 16：30 T1-O-9 野島断層2015年小倉トレンチ破砕部から得た石英のルミネッセンス特性， 三浦知督 ・長谷部徳子・鴈澤好博・田上高広・林 愛明	15：00 S1-O-11 原発事故と都市ジオハザード， 竹内真司 15：30 S1-O-12（招待） 地層処分と地下環境—自然に学ぶ現象とその応用—， 吉田英一 16：00 S1-O-13（招待） 放射性廃棄物処分の社会的側面に関する研究， 小松崎俊作 16：30 総合討論

※講演番号は，シンポジウム（S），トピックセッション（T），レギュラーセッション（R）のそれぞれに，ポスター（P）／口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。
 ※太字氏名：代表発表者，★印：ハイライト（本誌 p.（12）を参照），（招待）：招待講演，（エントリー）：優秀ポスター賞エントリー講演